

2008 年 9 月 24 日

MINI JOHN COOPER WORKS(ミニ・ジョン・クーパー・ワークス)発売開始。
モータースポーツの伝統を受け継いだ MINI のサブ・ブランドを日本市場へ投入。
「COMPACT(コンパクト)」、「HIGH EFFICIENCY(高効率)」、「HIGH PERFORMANCE(ハイ・パフォーマンス)」全てを兼ね備えた新次元の「ゴーカート・フィーリング」

ビー・エム・ダブリュー株式会社(本社:東京都千代田区丸の内 1-9-2、代表取締役:ヘスス・コルドバ)は、2002 年 3 月 2 日(ミニの日)以来、唯一の小型プレミアム・カーとして新たな市場を開拓した MINI のラインナップで最も高い出力とトルクを実現したハイ・パフォーマンス・モデル、**MINI John Cooper Works**(ミニ・ジョン・クーパー・ワークス)を発売することを発表しました。コンパクトでありながら、ハイ・パフォーマンス、そして高い燃費効率を実現し、厳しい排ガス規制をクリアした MINI John Cooper Works は 2008 年 9 月 25 日(木)より全国の MINI 正規ディーラーで予約注文の受付を開始します。お客様への納車は 2008 年 10 月中旬以降を予定しております。

メーカー希望小売価格(消費税込み、消費税以外の税、登録諸費用は除く)

車両名	エンジン	トランスミッション	希望小売価格
MINI John Cooper Works	1.6 リッター 直列 4 気筒 16 バルブ ターボ・チャージャー付	6 速 MT (AT 設定無し)	¥3,630,000

- 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金(消費税を除く)、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。また「自動車リサイクル法」に基づく、リサイクル料金が別途必要となります。

MINI John Cooper Works(ミニ・ジョン・クーパー・ワークス)の特徴

➤ MINI のラインナップで最も高いパフォーマンスを発揮

MINI のラインナップの中で最も高いパフォーマンスを発揮する MINI John Cooper Works は、BMW グループによって開発された高性能なエンジンを搭載して、オクスフォード工場で生産されます。ツインスクロール・ターボチャージャーおよびダイレクト・インジェクション・システムを採用した新開発 4 気筒エンジンは、最高出力 155kW(211hp)/6,000rpm、最大トルク 260Nm/1,850~5,600rpm(オーバーブースト時は 280Nm/2,000~5,300rpm)を発生させます。0-100km/h 加速性能 6.5 秒、最高速度 238km/h です。

ビー・エム・ダブリュー株式会社 代表取締役社長ヘスス・コルドバは次のように述べています。
「MINI の全モデルは、BMW グループによって開発された非常に効率の良いエンジンを搭載し、安全性や走行性能だけでなく、高い燃費効率を実現しています。」

➤ **ハイ・パフォーマンスでありながら同時に高い燃費効率と低 CO2 排出を実現**

MINI John Cooper Works は効率性においても妥協がありません。EU テスト・サイクルでの MINI John Cooper Works の平均燃料消費量は 100km あたり 6.9 リッターと、MINI Cooper S(国土交通省審査値による燃料消費率 10・15 モード: 14.2L)と同レベルの燃料効率を実現しています*。1km 走行あたりの CO2 排出量は 165g に抑えられており、さらにヨーロッパの EU5、アメリカの ULEV II というふたつの厳しい排出ガス基準のすべてをクリアしています。つまり、MINI John Cooper Works は効率性の高さと厳しい排出ガスの基準を全てクリアすると同時に、CO2 排出量の少ないエコなハイ・パフォーマンスカーなのです。

「そもそも MINI は 1956 年のスエズ危機に端を発する深刻なオイルショックを受けて誕生しました。燃費のいいコンパクトカーとして生まれた車ですから、「効率性」というのは MINI ブランドの原点なのです。」コルドバは MINI ブランドの誕生の背景について述べています。

➤ **モータースポーツの技術をすべて反映させたモデル**

エンジンは MINI のワンメークレース、MINI CHALLENGE で使用されるレースカーと全く同じエンジンを搭載。MINI John Cooper Works に搭載される専用デザインによる超軽量アロイ・ホイール、高性能ブレーキ・システム、新開発のエキゾースト・システム、改良型 6 速マニュアル・トランスミッションは、いずれもニュー MINI John Cooper Works CHALLENGE のレースカーから受け継いでいます。つまり、MINI John Cooper Works とはモータースポーツで培われた技術を全て反映させたモデルなのです。

➤ **John Cooper(ジョン・クーパー)のスピリットを継承したモデル**

ブランド名に使用される John Cooper Works とは、1960 年代にモータースポーツ界を席巻したジョン・クーパーという人物の名前から取っています。ジョン・クーパーとは、1960 年代にクラシック Mini を素材にして、レーシング活動に関わり、チューニングされた Mini でモンテカルロラリーを 3 度も制するという偉業を成し遂げた人物です。現在、BMW グループはジョン・クーパーの息子であるマイク・クーパーを MINI John Cooper Works ブランドのコンサルタントという立場で招聘し、特にアフター・パーツのチューニング・キットの開発に関与しています。

➤ **高いパフォーマンスを強調する MINI John Cooper Works のアクセサリ**

MINI 正規ディーラーでは、John Cooper Works の半世紀にわたるモータースポーツの伝統を反映した MINI John Cooper Works のアクセサリを販売しています。MINI ならではの特徴や特性に応じて完璧に設計されています。MINI のキャラクターをいっそう強調するため、モータースポーツからヒントを得た機能やデザインを備えた数多くのアクセサリを、インテリアとエクステリアの両方に用意しています。

MINI John Cooper Works ブランドについて

MINI John Cooper Works の製品は、MINI ブランドのサブ・ブランドという位置づけで、全国の MINI 正規ディーラーで販売されます。通常の MINI ブランドの製品と異なり、MINI John Cooper Works の製品には、必ず「**MINI John Cooper Works**」というロゴが冠されます。今回新たに発表するモデルやチューニング・キットのほかに、オプションやアクセサリも用意しています。John Cooper Works のロゴが入った MINI の製品は、MINI がモータースポーツの世界で樹立した栄光の歴史とレースによって培われた高いパフォーマンスを示します。

***MINI John Cooper Works は年間輸入台数が 2,000 台以下のモデルに適用される輸入車特別取扱制度 (PHP) による認証手続きを経ているため、国土交通省審査値 10・15 モードによる燃料消費率は計測されていません。**